

## 11月の様子 吾も紅

秋の好日、吾も紅の軒先にはツヤツヤとおいしそうな吊るし柿がずらりと並びます。

大量の大きな渋柿を職員が家から持ってきてくれ、今年は例年以上に「豊作」に。毎日毎日、終わらない皮むきの作業ですが皆さん嫌がらずせっせと包丁を手にくれます。きつとなじみの作業だったんだらうなあ。

しみじみと感慨にふけているとむき終わった渋柿を手にした K さん、おもむろにそのまま口に運びました。

「えっ…」一同かたずをのんで見守る中、K さんは涼しい顔でむしゃむしゃと食べ続けます。

「あんな渋いのを食べて、死んでしまうよ」口の悪い A さんの嫌味も何のその、馬耳東風でやり過ごし K さんまるまる一個を食べてしまいました。

心頭滅却すれば火もまた涼し、なのかと K さんの凛としたたずまいに舌を巻いていたところ、不意に K さんティッシュを取って口に押し込み始めました。

「胃が悪い…」さすがに渋が口に残ったのか、いまさらながらに胃が痛み始めた様子。

「いやしんぼしたから罰が当たった。おいしそだったのに…」恨めしそうに柿をにらむ K さん。やはり、渋柿は風にさらして食べるという先人の知恵は正しかったことが証明されたのでした。

さて、今月のお出かけは

20日、うどんの耕庵に外食。

28日、久万高原町のふるさと村に紅葉狩り。

恒例のふるさと村紅葉狩りは毎年時期の見極めが難しく、今年は暖かかったため後半に予定したのですが、その数日前に台風が来襲、無残にも紅葉を散らして「落ち葉見物」になってしまったようです。でも道中ではきれいな紅葉を楽しむことができ、また料亭での地元の食材を使った懐石料理には一同大満足して舌鼓を打ったとのこと。また来年も行きたいね、の声が早速あがっていました。

(永和 里佳子)

